

2023年度 卒業時アンケート集計結果

理学部

目次

1.理学部 数物情報科学科.....	2
2.理学部 化学生命科学科.....	9

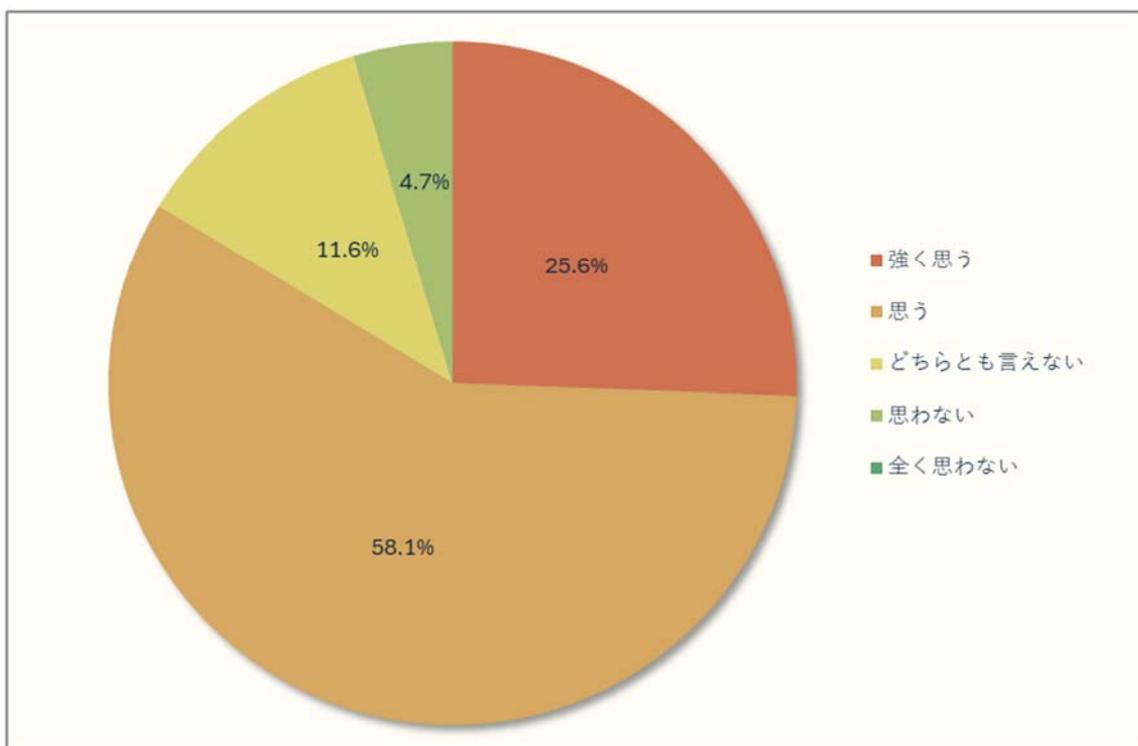
<2023年度回答率> アンケート実施期間:2024年2月1日(木) 00:00 ~2024年2月15日(木) 23:59
(児童学科・家政経済学科は別途期間に実施)

学部	学科	専攻	2023年5月1日 4年次在籍者数	回答数	回答率
家政	児童		96	66	68.8%
	食物	食物学	38	19	50.0%
		管理栄養士	60	35	58.3%
	住居	居住環境デザイン	59	8	13.6%
		建築デザイン	39	1	2.6%
	被服		92	18	19.6%
	家政経済		94	93	98.9%
計		478	240	50.2%	
文	日本文		146	37	25.3%
	英文		152	35	23.0%
	史		97	45	46.4%
	計		395	117	29.6%
人間社会	現代社会		110	11	10.0%
	社会福祉		100	18	18.0%
	教育		104	53	51.0%
	心理		77	47	61.0%
	文化		137	40	29.2%
	計		528	169	32.0%
理	数物情報科		92	43	46.7%
	化学生命科		96	80	83.3%
	計		188	123	65.4%
学部合計 (通学課程全体)			1589	649	40.8%

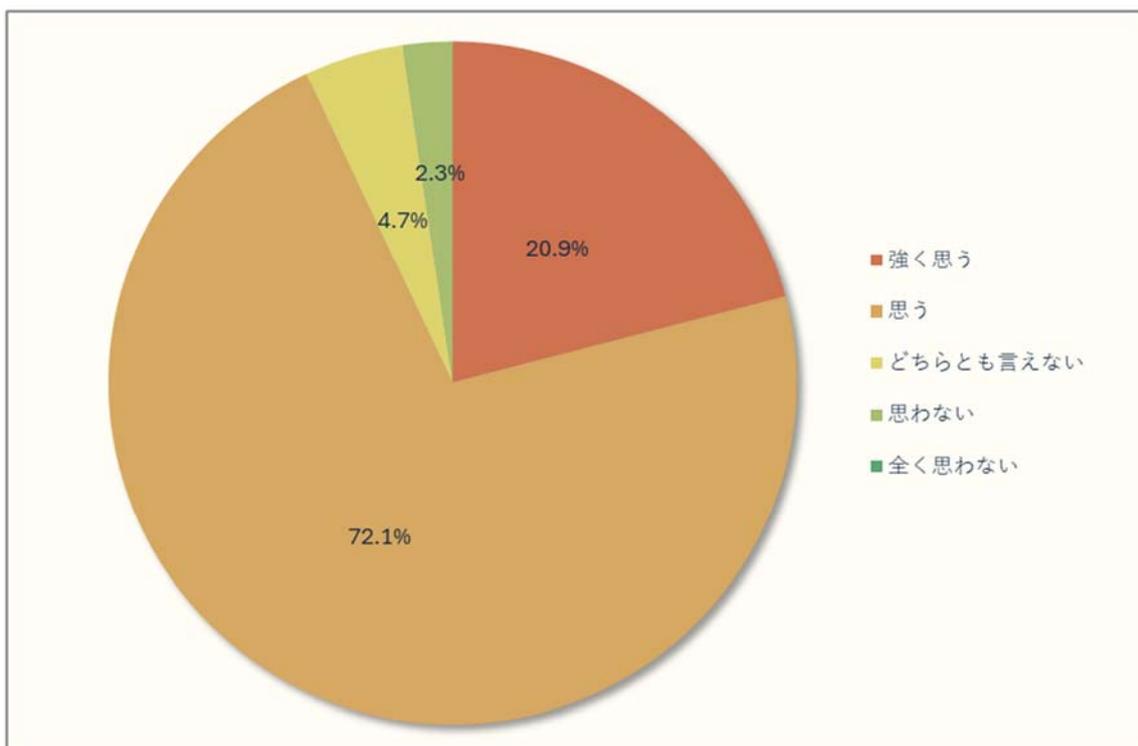
数物情報科学科

数物情報科学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [数物情報科学科DP(一部改)]

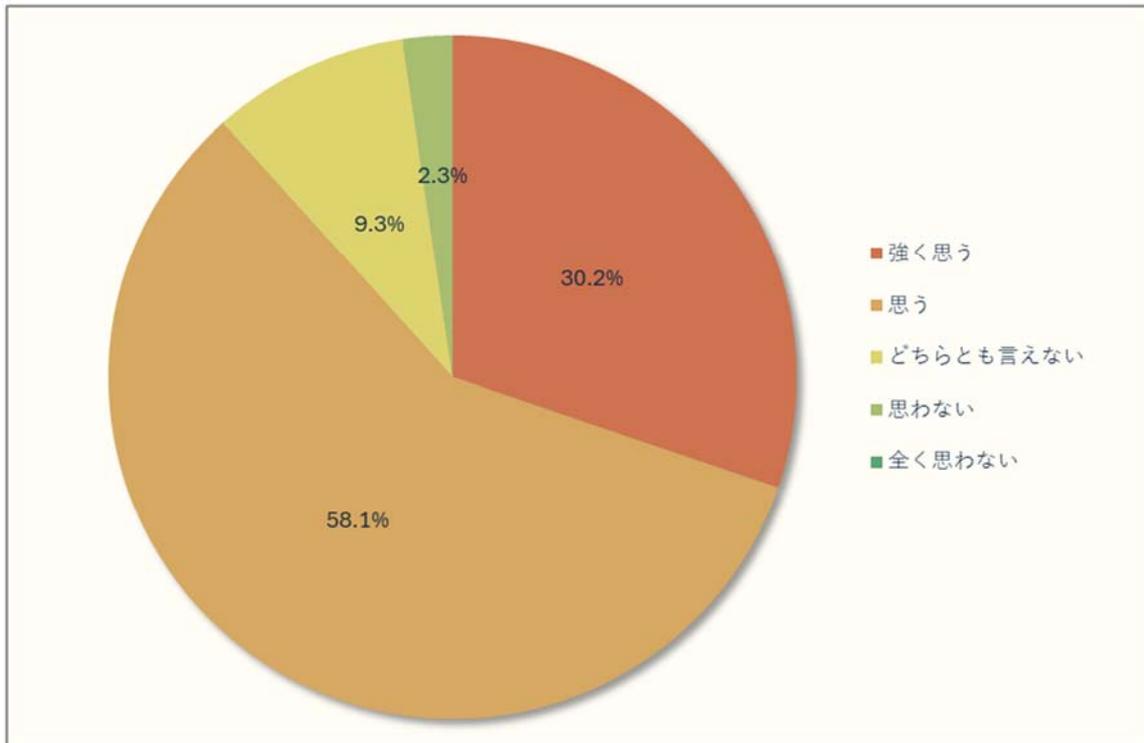
1. 数学、物理学及び情報科学の基本的な概念を確実に身に付け、その専門的応用力を有し、関連する基本的な情報学的あるいは工学的知識もあわせ持つこと。



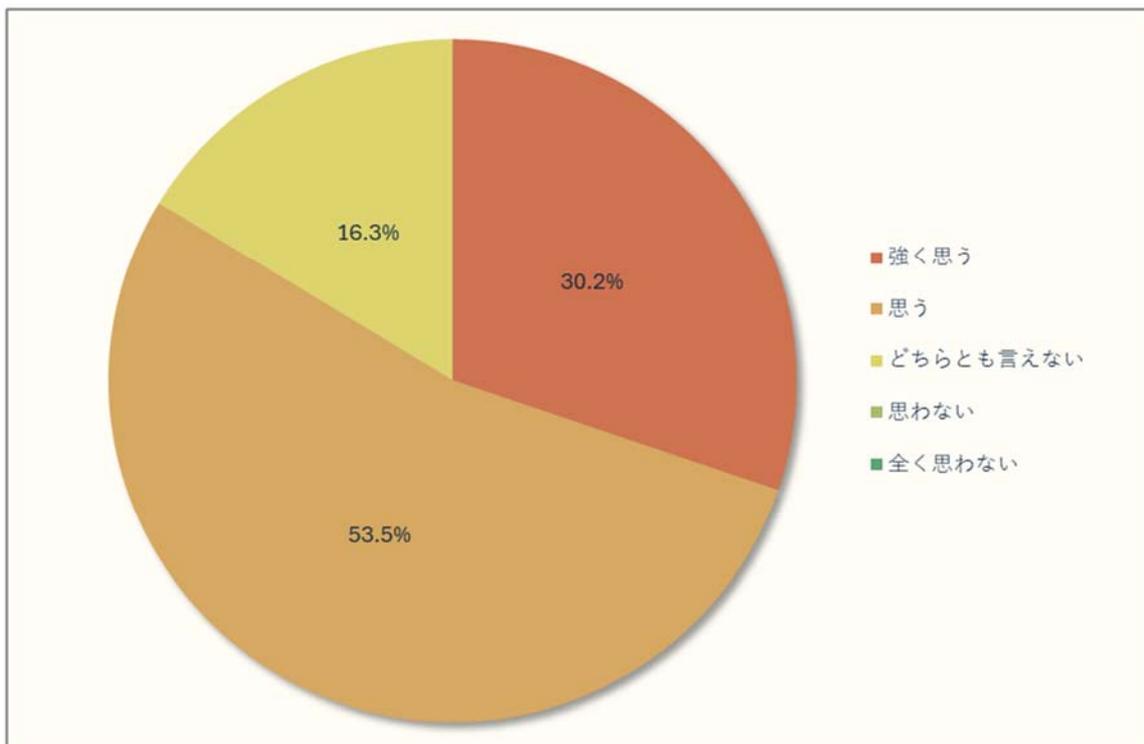
2. 数学、物理学あるいは情報科学の知識を応用し、情報化社会の諸問題を論理的に把握し判断できる能力と姿勢を持つこと。



3. 数学物理学あるいは情報科学の素養を基として、複雑な現象に隠されている原理を発見し、数学、物理学や情報科学と関連して理解・応用する努力ができること。また、新しい問題、課題に自主的に取り組む姿勢を持つこと。

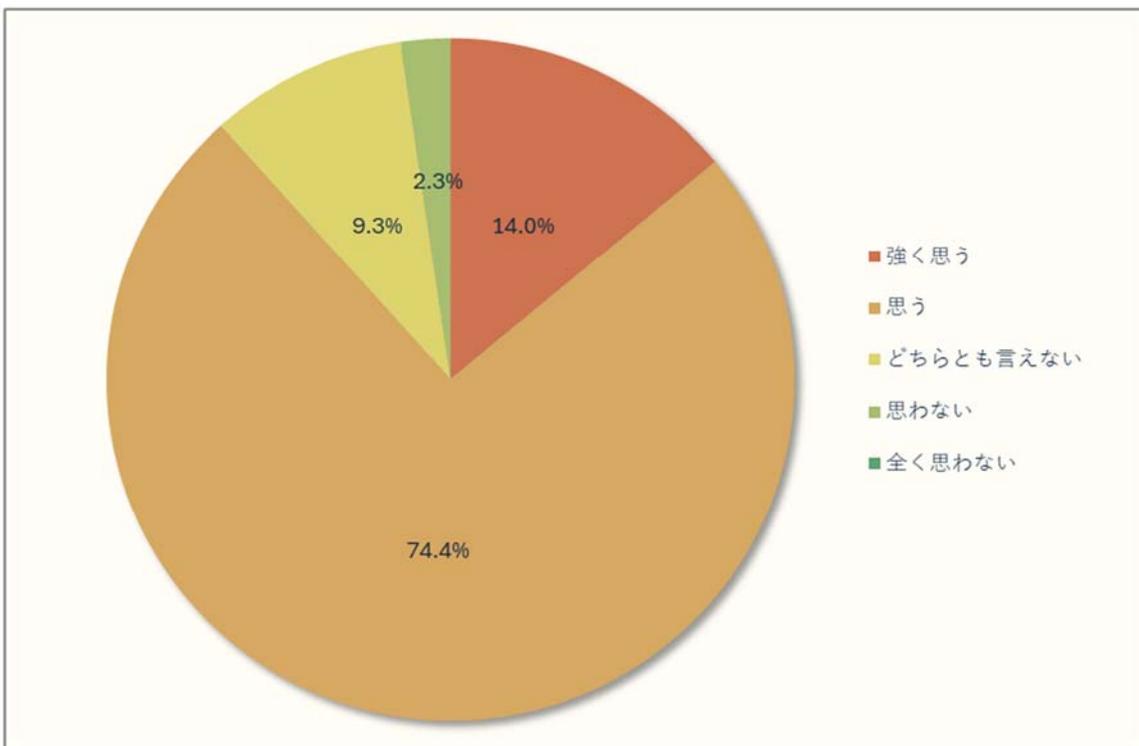


4. 数学的、物理学的及び情報科学的な思考力と応用力を身に付け、演習や実験等で培った知識と技能によって問題を把握表現し解決する努力ができること。

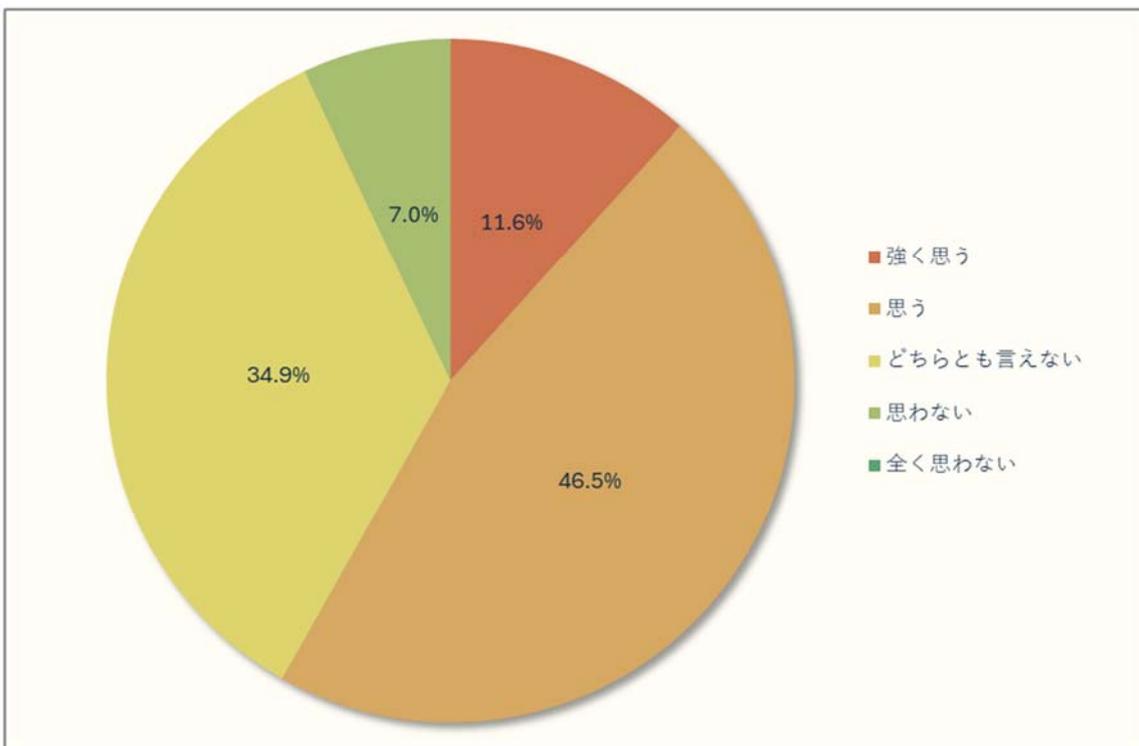


理学部の学生として以下のことが身についたと思いますか？[理学部DP]

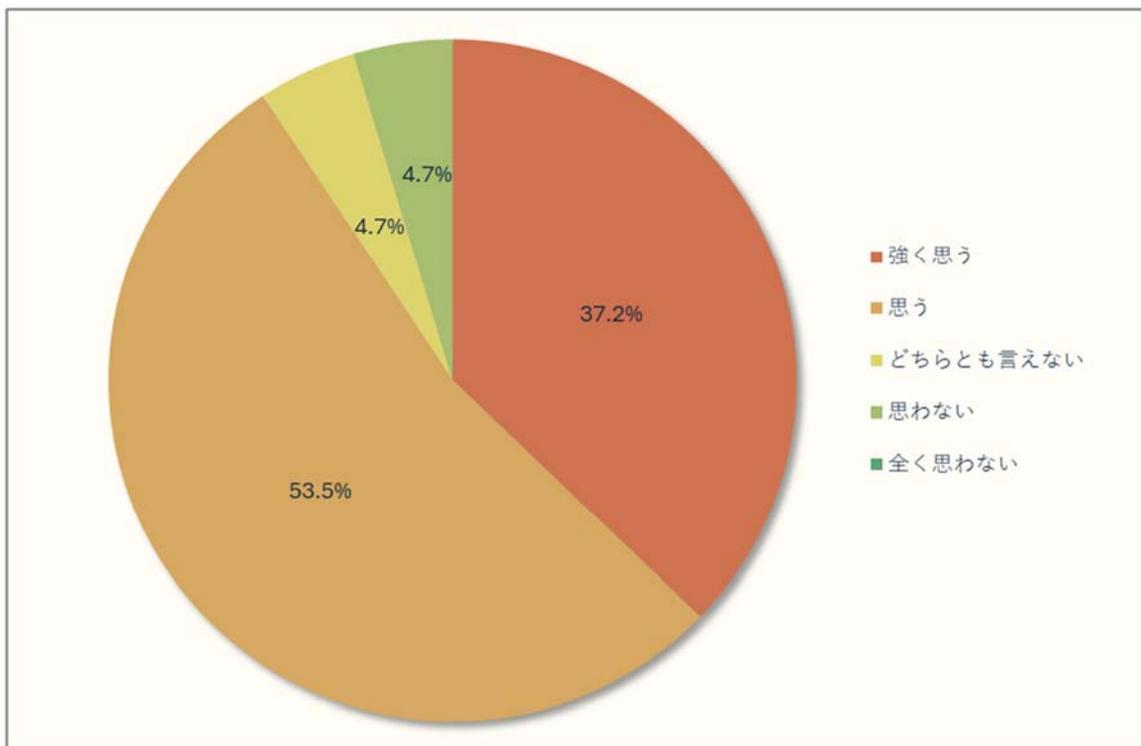
5. 自然科学についての総合的な知識に基づいて、様々な角度から系統的に考えることができる。



6. 自然科学の各分野の専門的知識に基づいて、環境問題等社会がかかえる問題の解決に貢献できる。

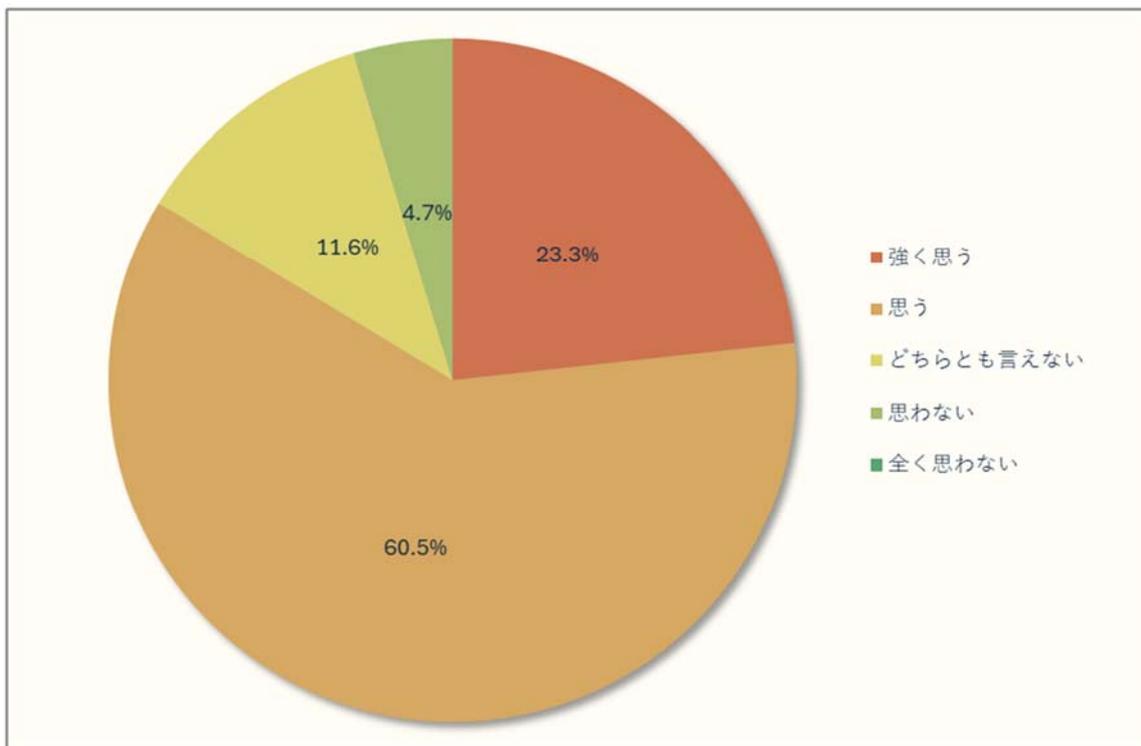


7. 論理的な思考により、問題の発見と解決に自ら努力することができる。

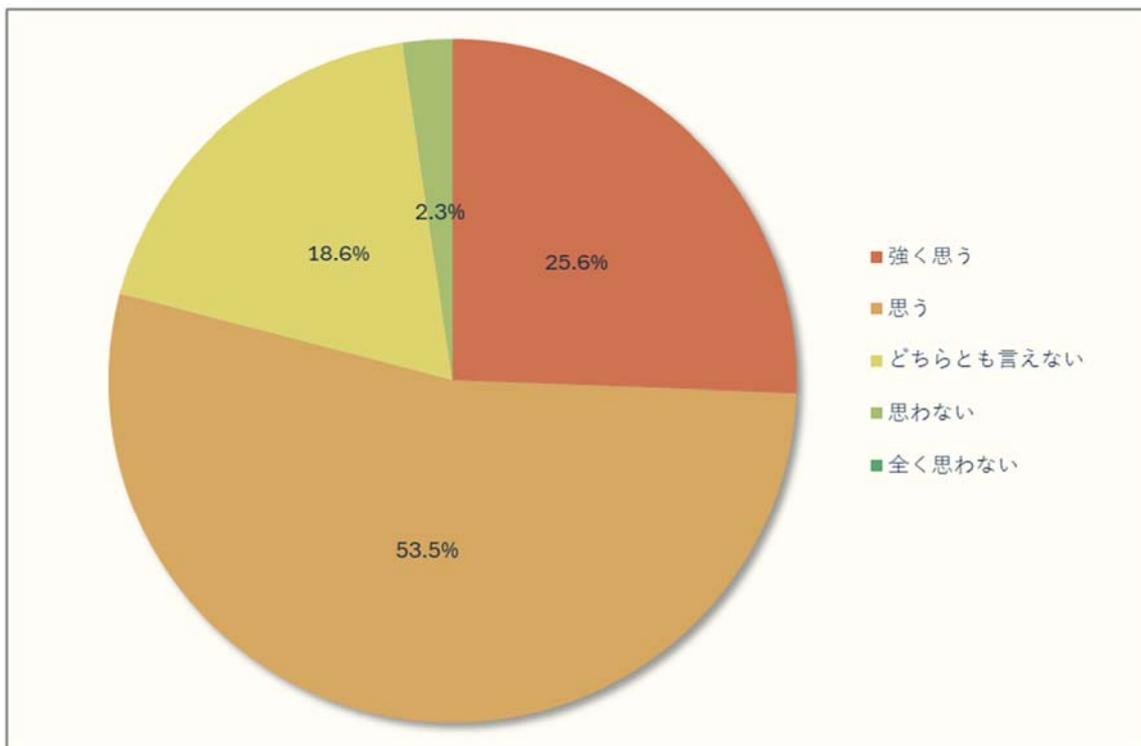


日本女子大学の学生として以下のことが身についたと思いますか？[大学DP]

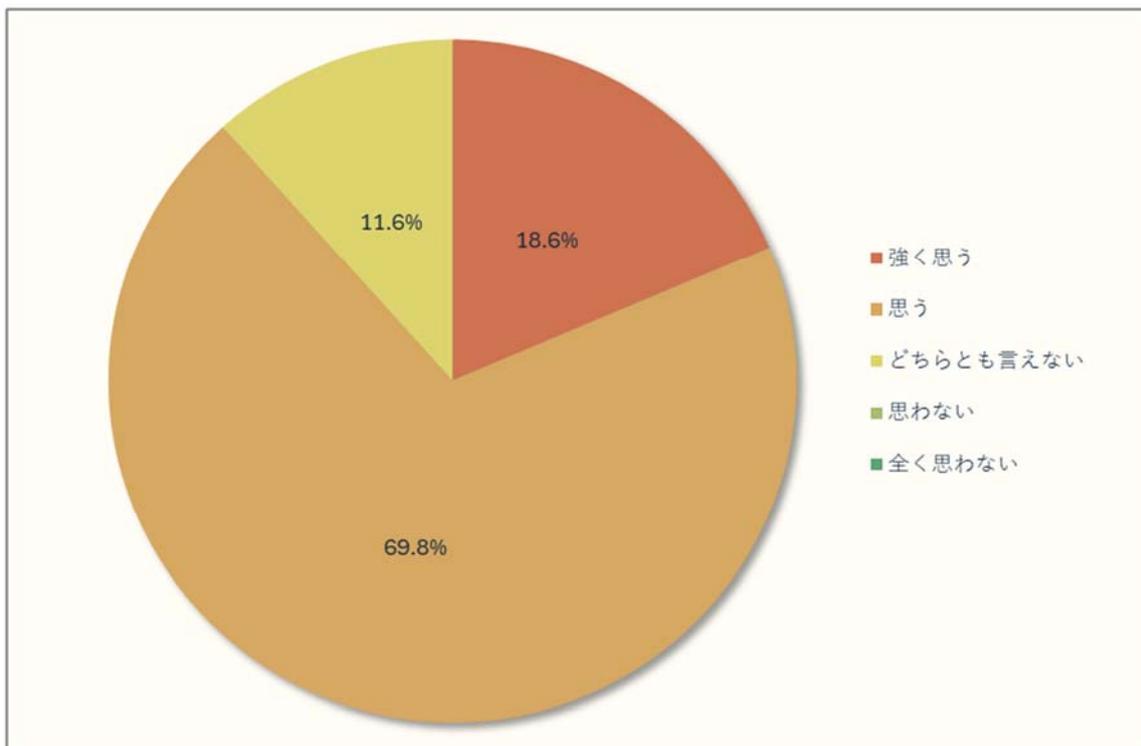
8. 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。



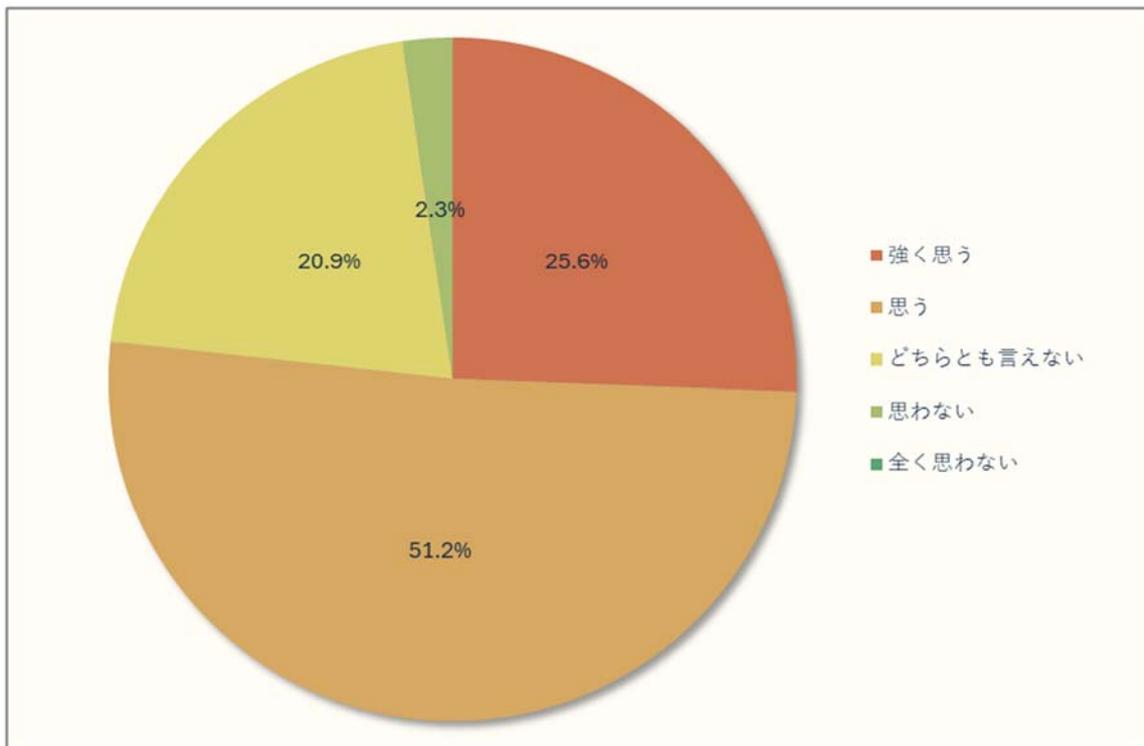
9. 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。



10. 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。

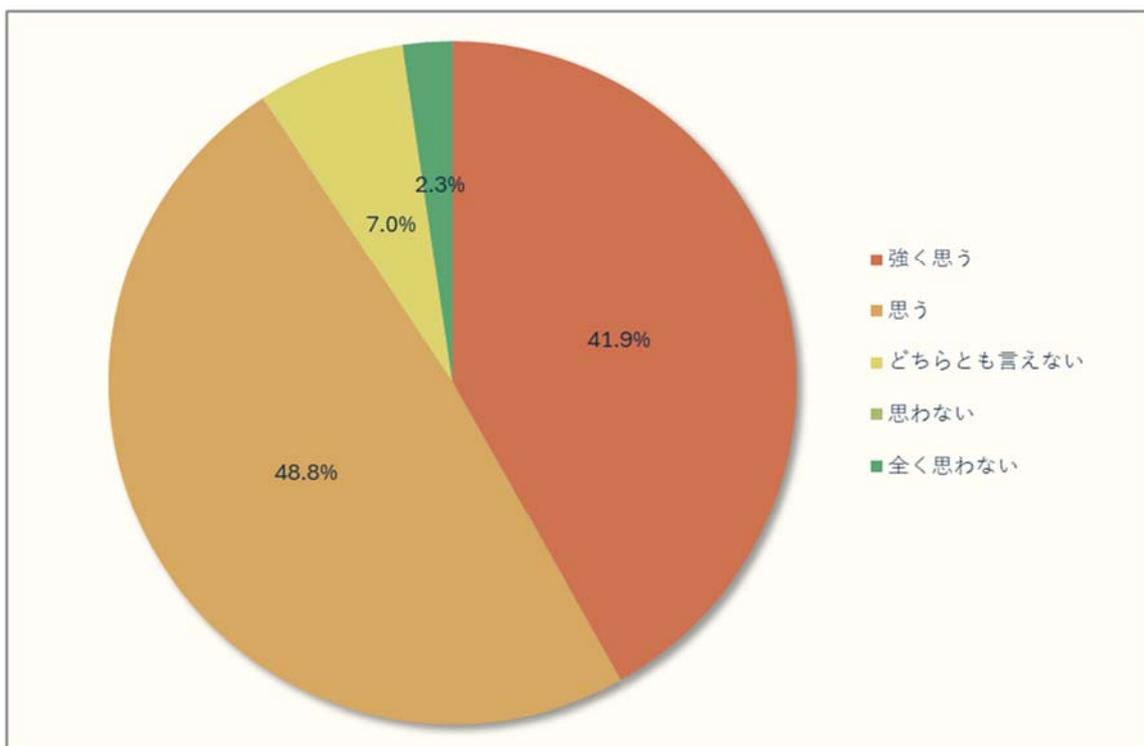


11. 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。

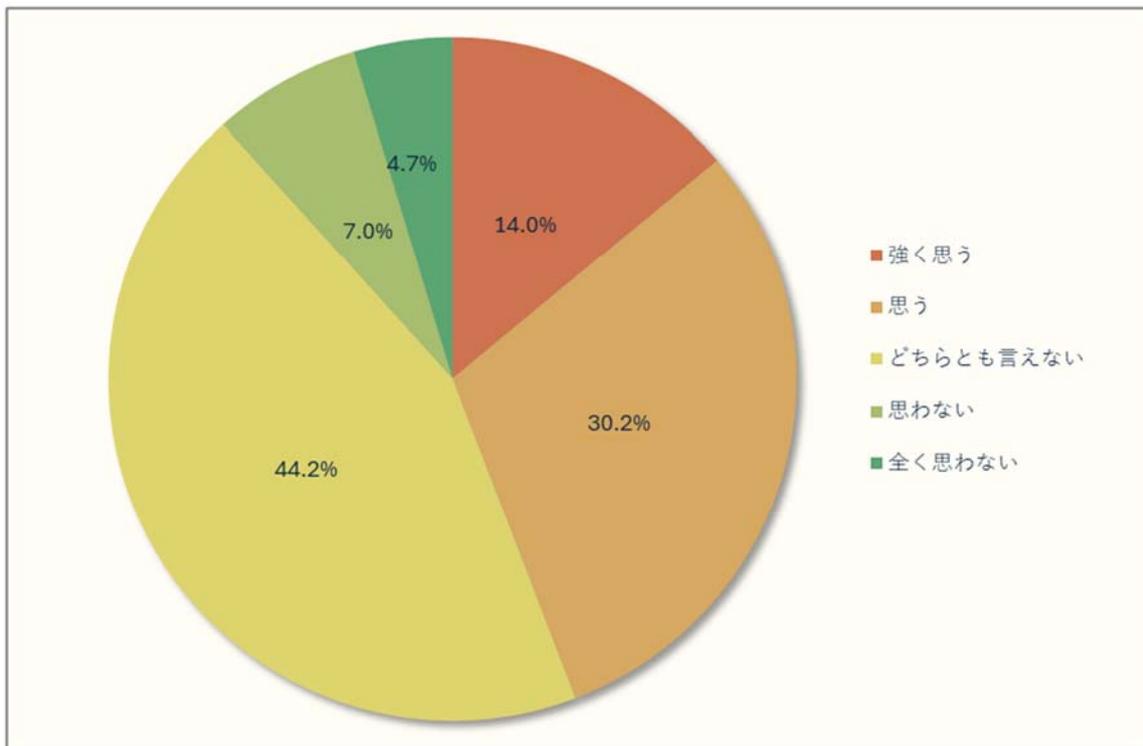


本学卒業にあたっての満足度について伺います。

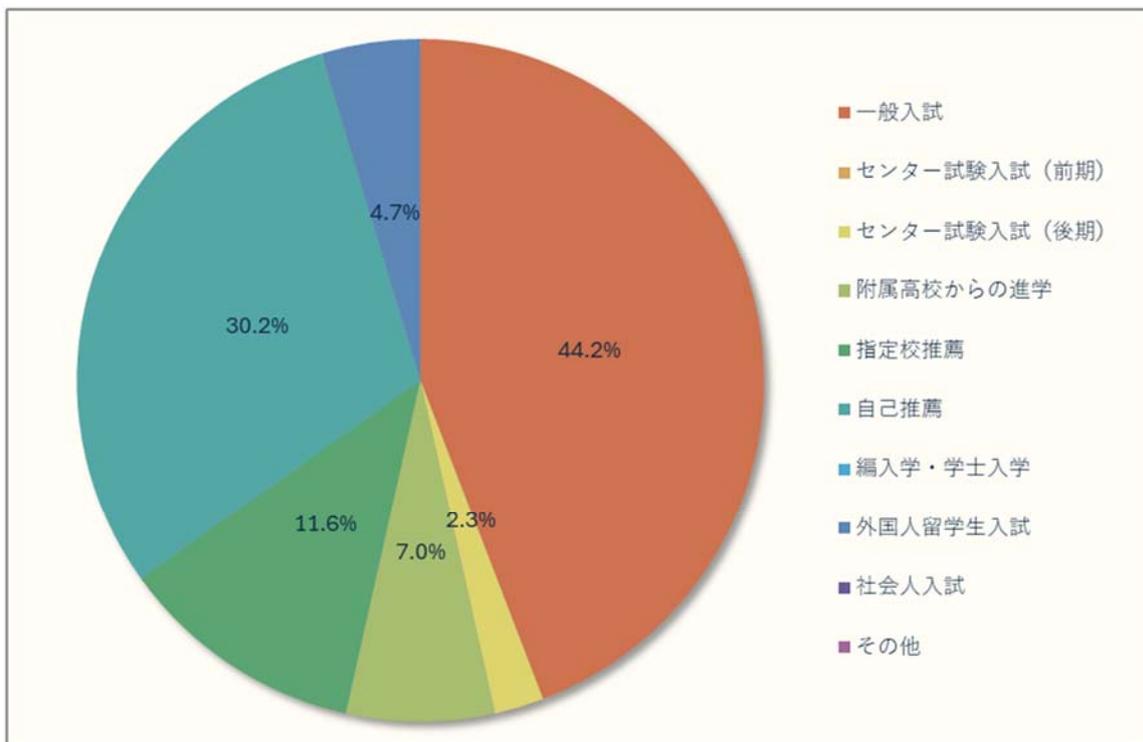
12. 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



13. 学生生活に関する大学の支援体制（修学支援・キャリア支援・生活支援（心身の健康相談等）・課外活動支援など）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



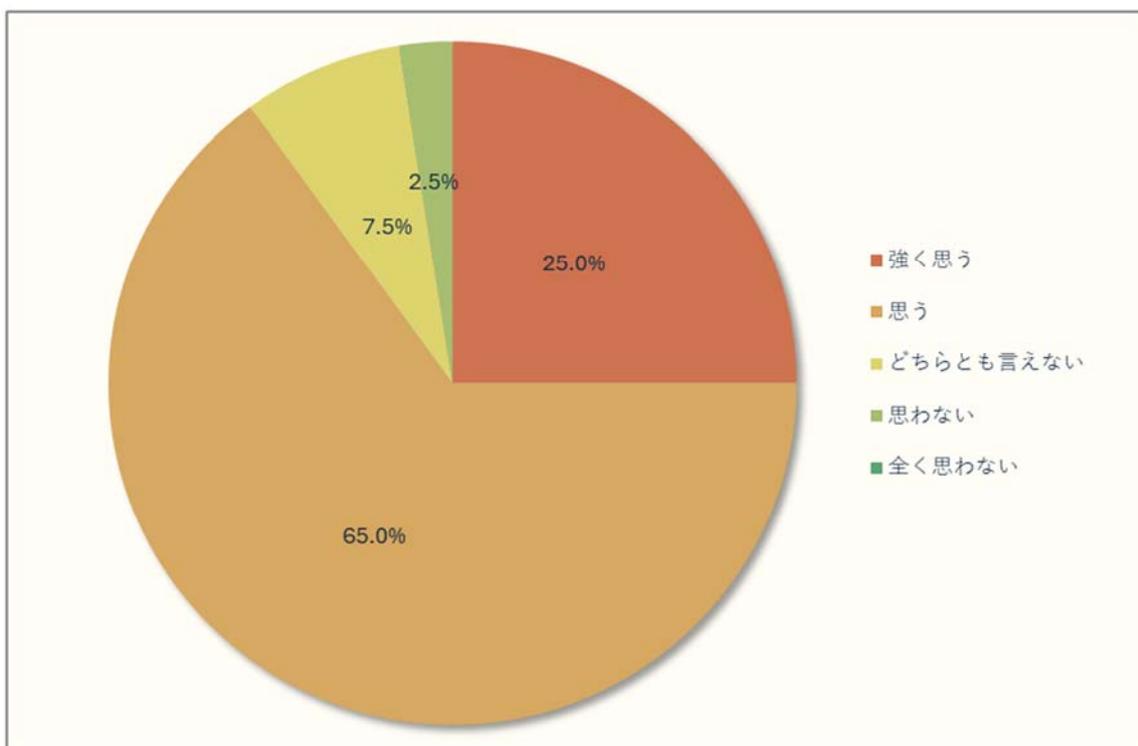
14. あなたが入学した試験形態を教えてください。



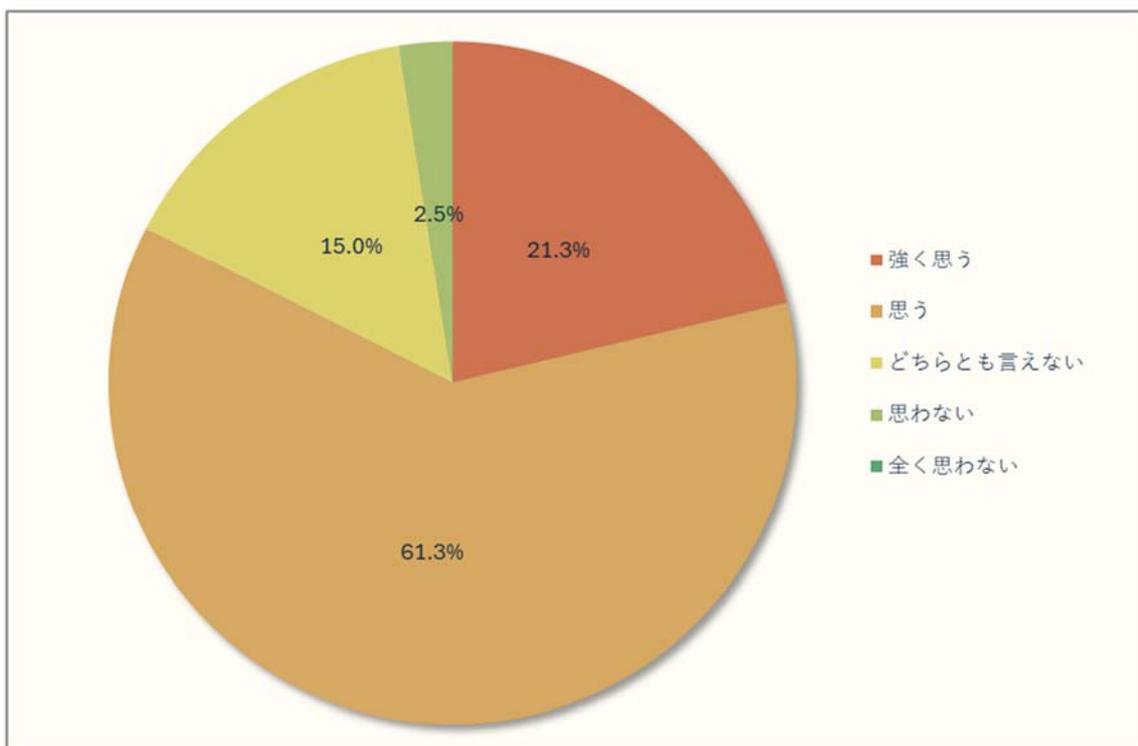
化学生命科学科

化学生命科学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [化学生命科学科DP]

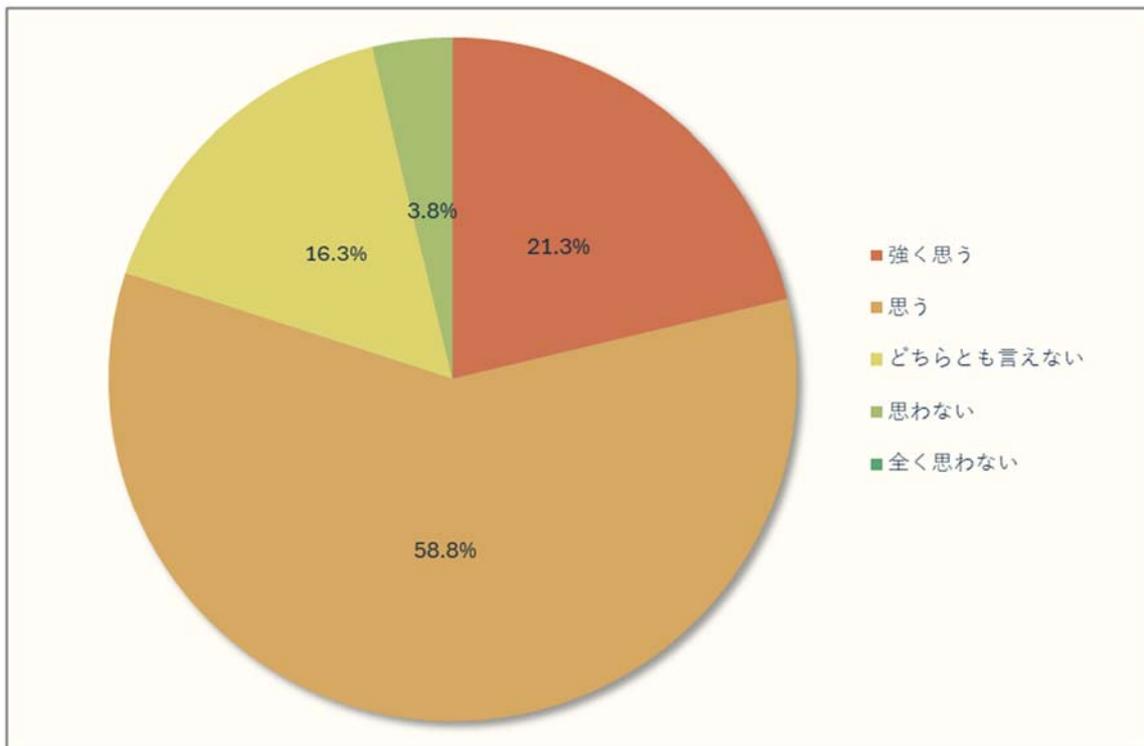
1. 化学と生物学及びその複合領域である分子生命科学の基礎的な知識を修得し、更に、いずれかの分野の高度な学問内容及び方法を理解している。



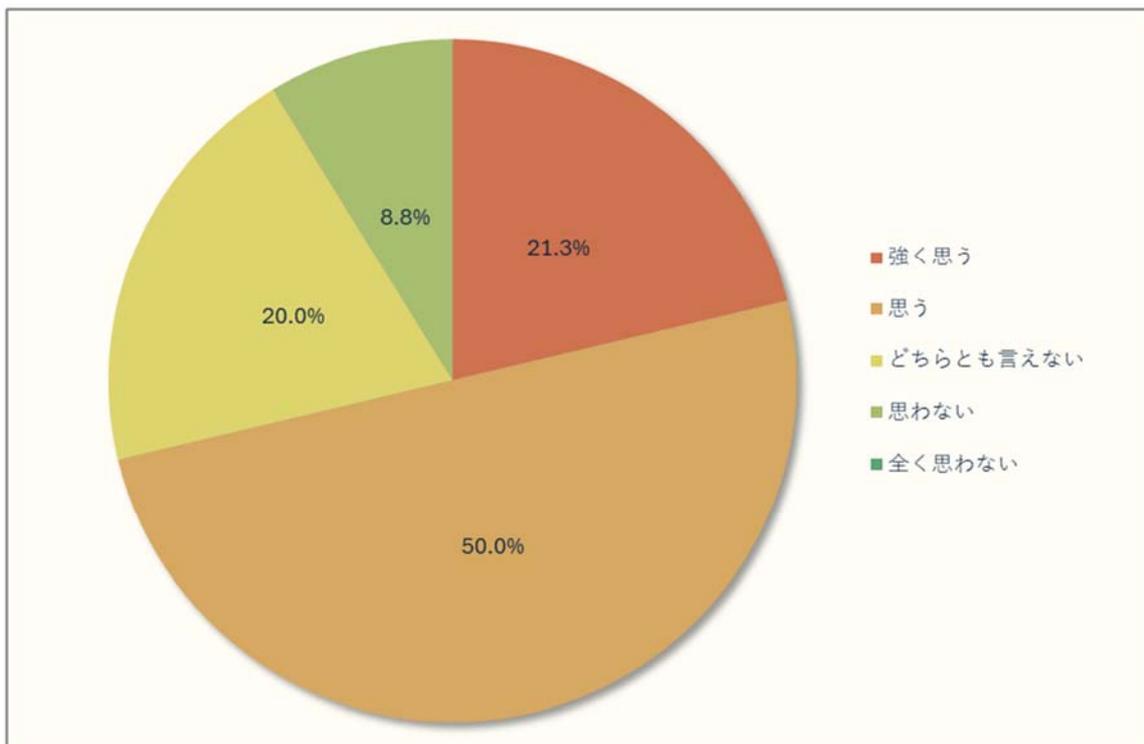
2. 自ら設定した課題について、化学、生物学、もしくは分子生命科学の研究方法を用いて、取り組むことができる。



3. 自然科学的な論理的思考法を有する者として、社会における自らの役割と責任を自覚でき、それぞれの場において、ニーズに応えるべく努力できる。

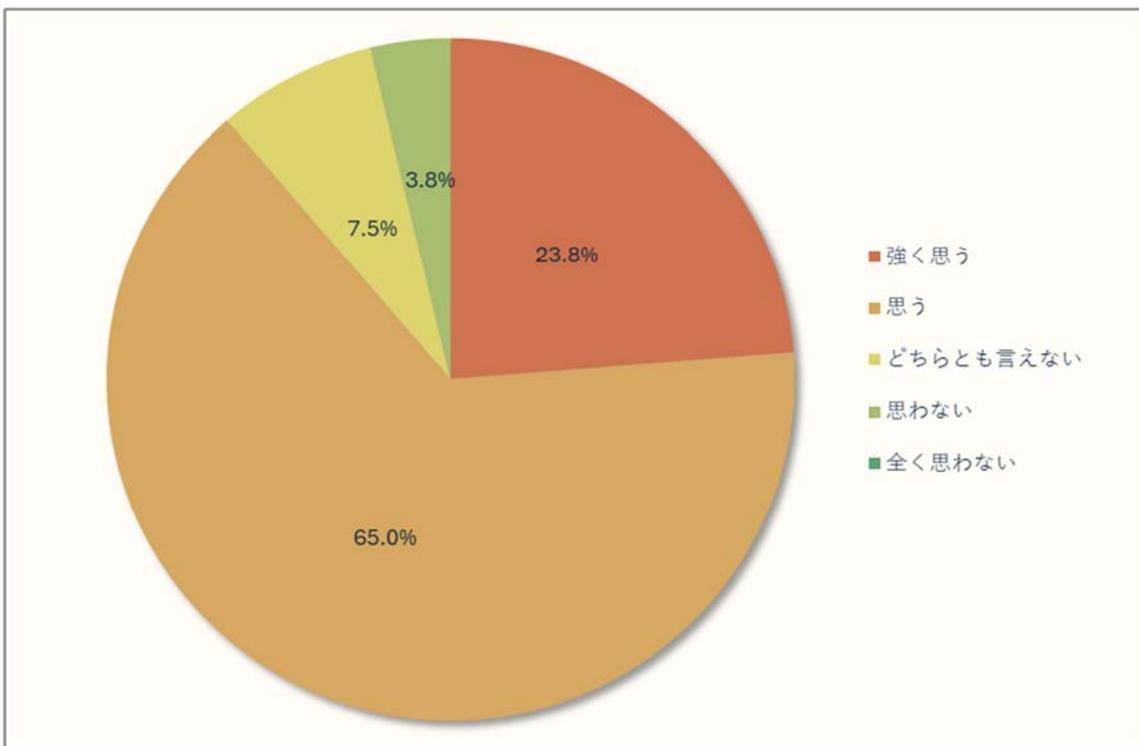


4. 化学的、生物学的及び分子生命科学的な基本技術を持っており、更にそのいずれかの技術を実践の場で活用できる。

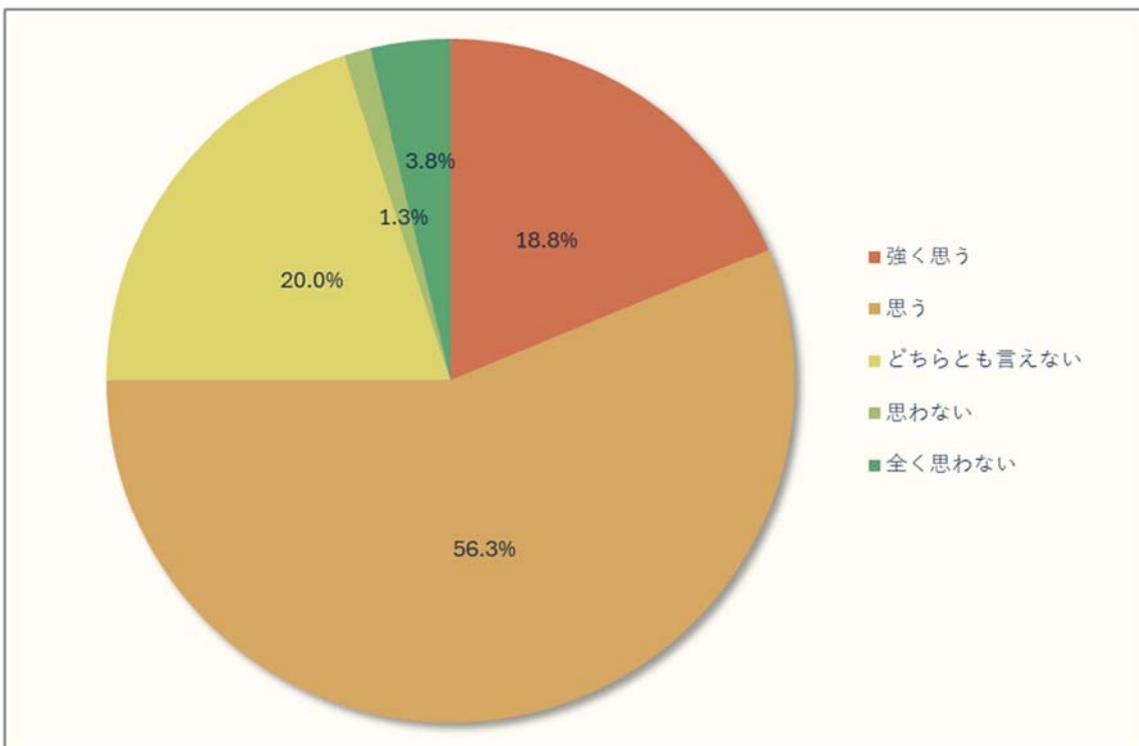


理学部の学生として以下のことが身についたと思いますか？[理学部DP]

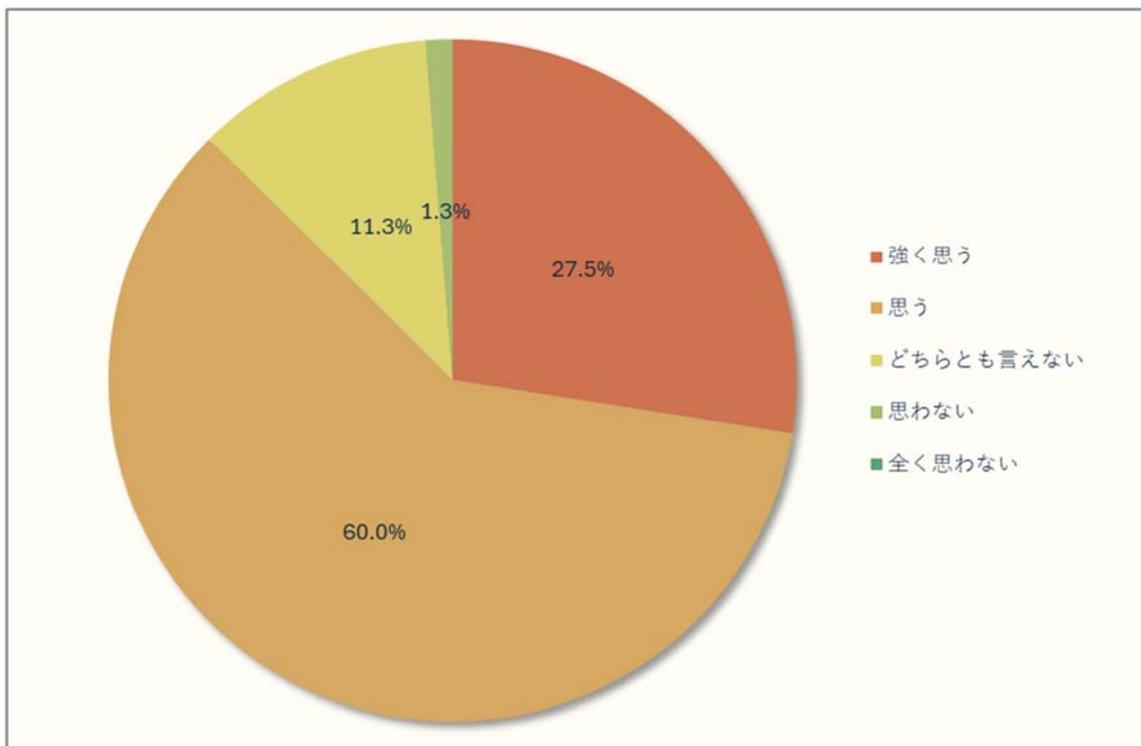
5. 自然科学についての総合的な知識に基づいて、様々な角度から系統的に考えることができる。



6. 自然科学の各分野の専門的知識に基づいて、環境問題等社会がかかえる問題の解決に貢献できる。

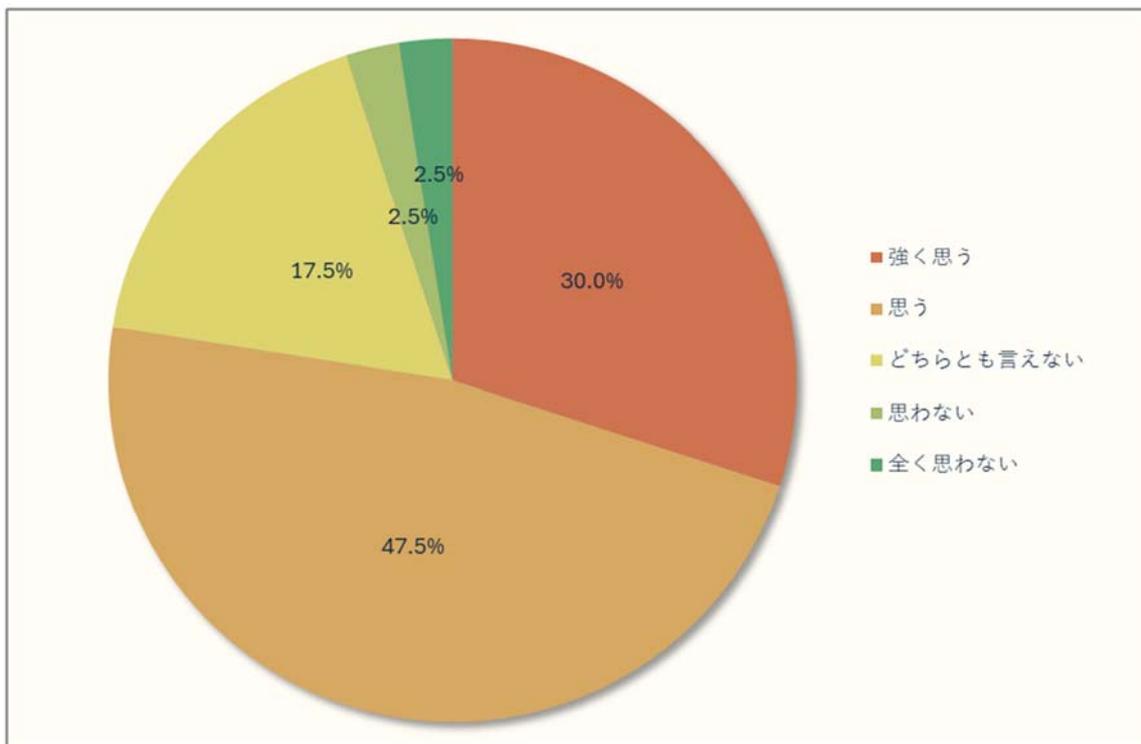


7. 論理的な思考により、問題の発見と解決に自ら努力することができる。

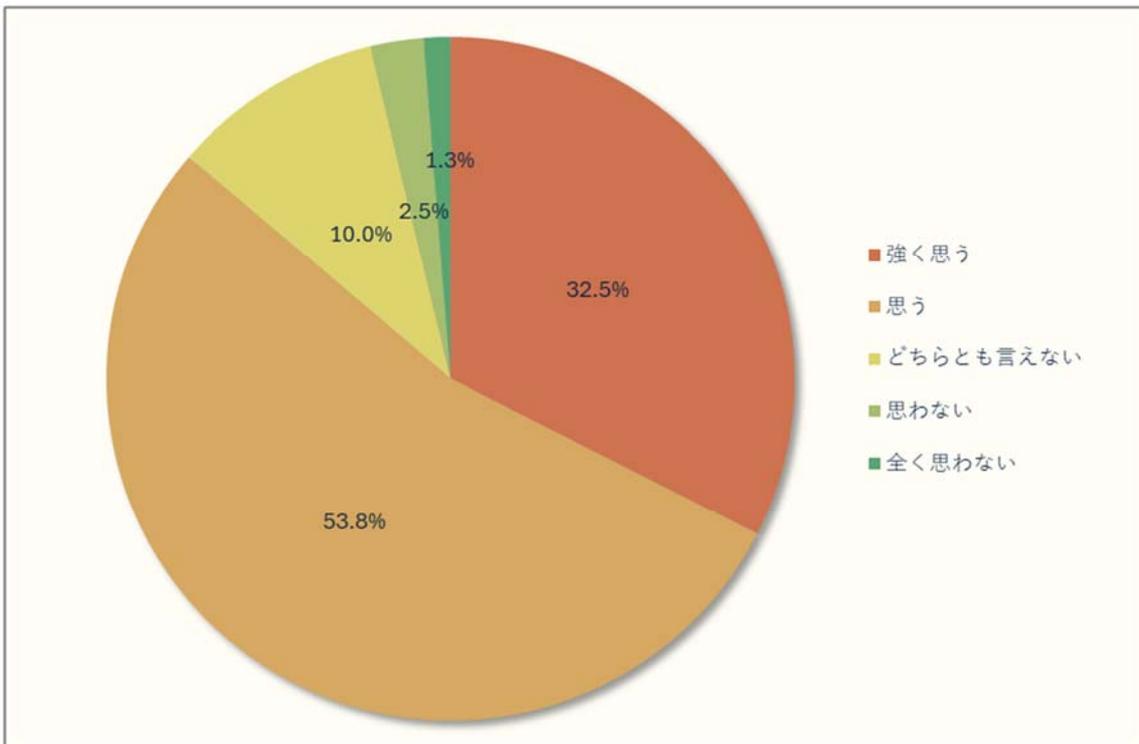


日本女子大学の学生として以下のことが身についたと思いますか？[大学DP]

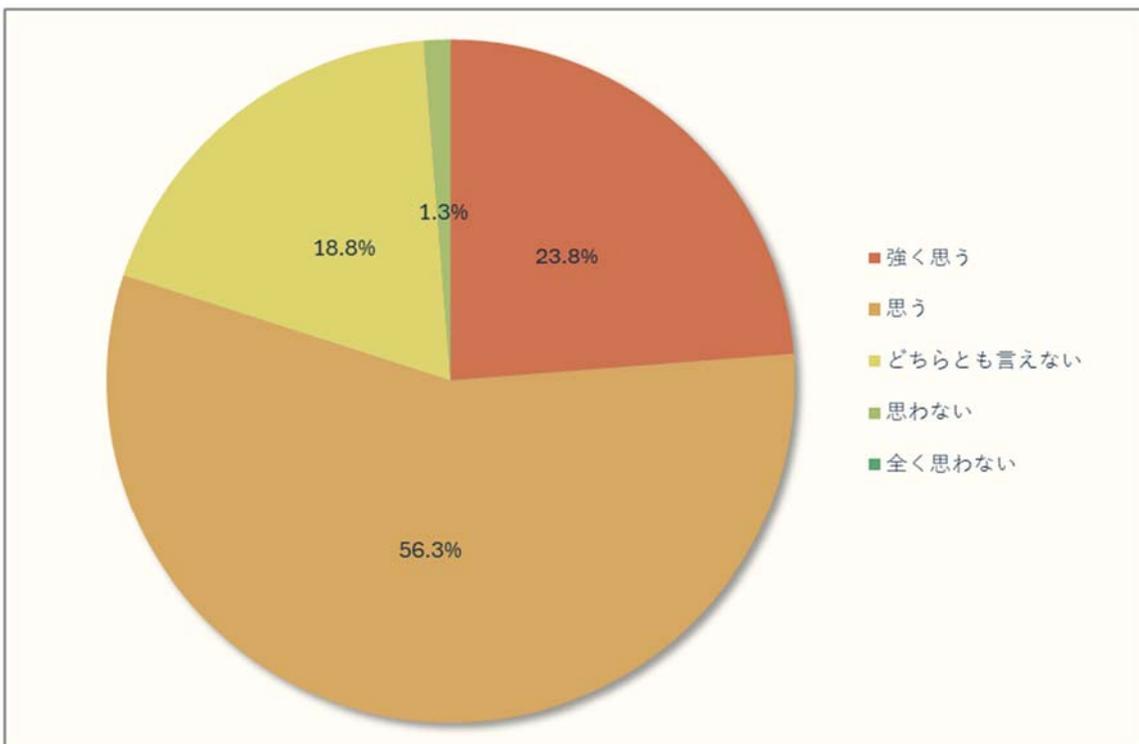
8. 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。



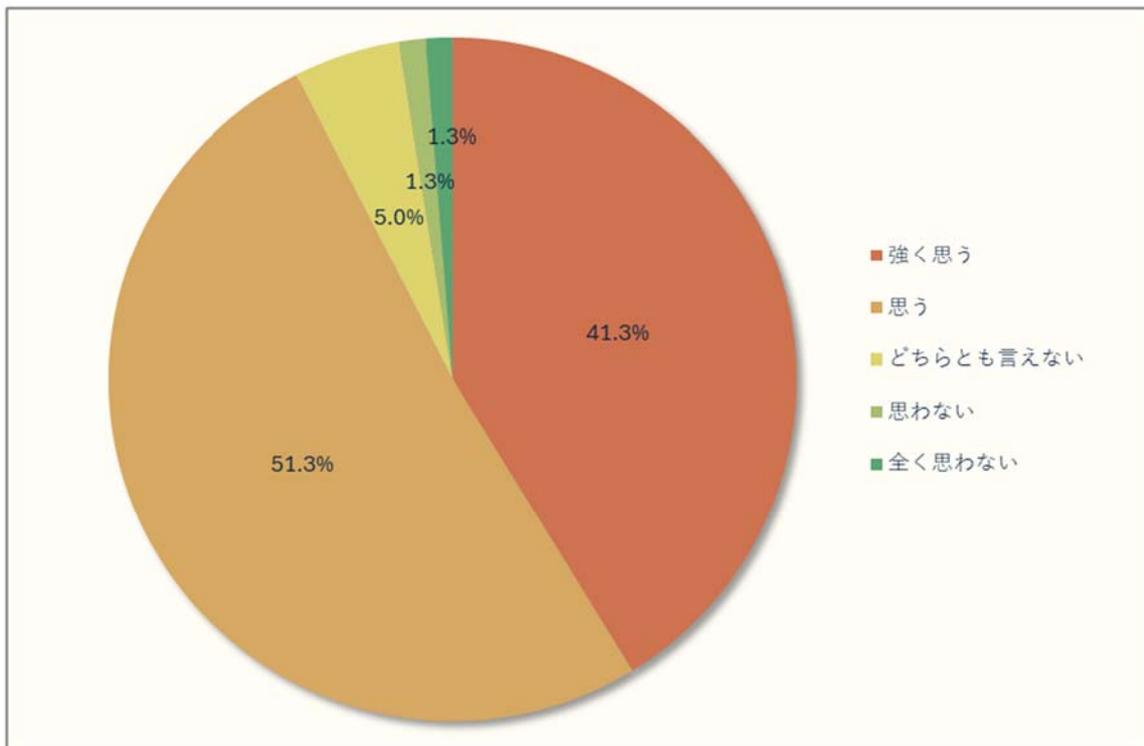
9. 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。



10. 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。

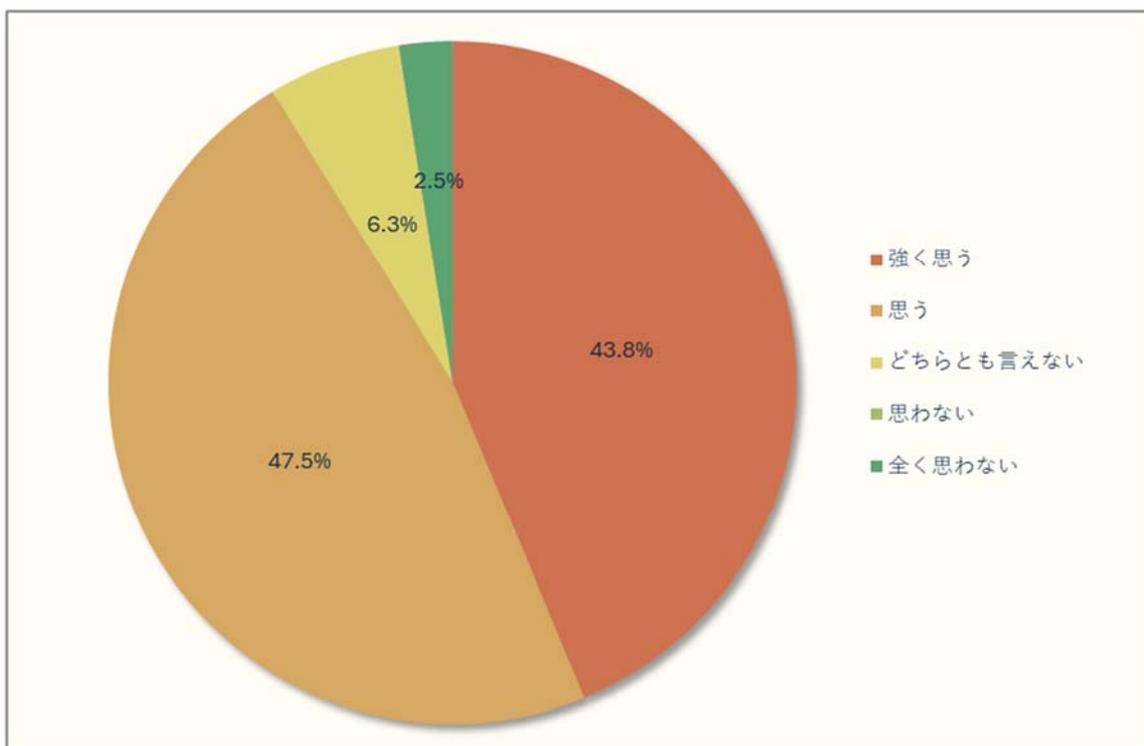


11. 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。

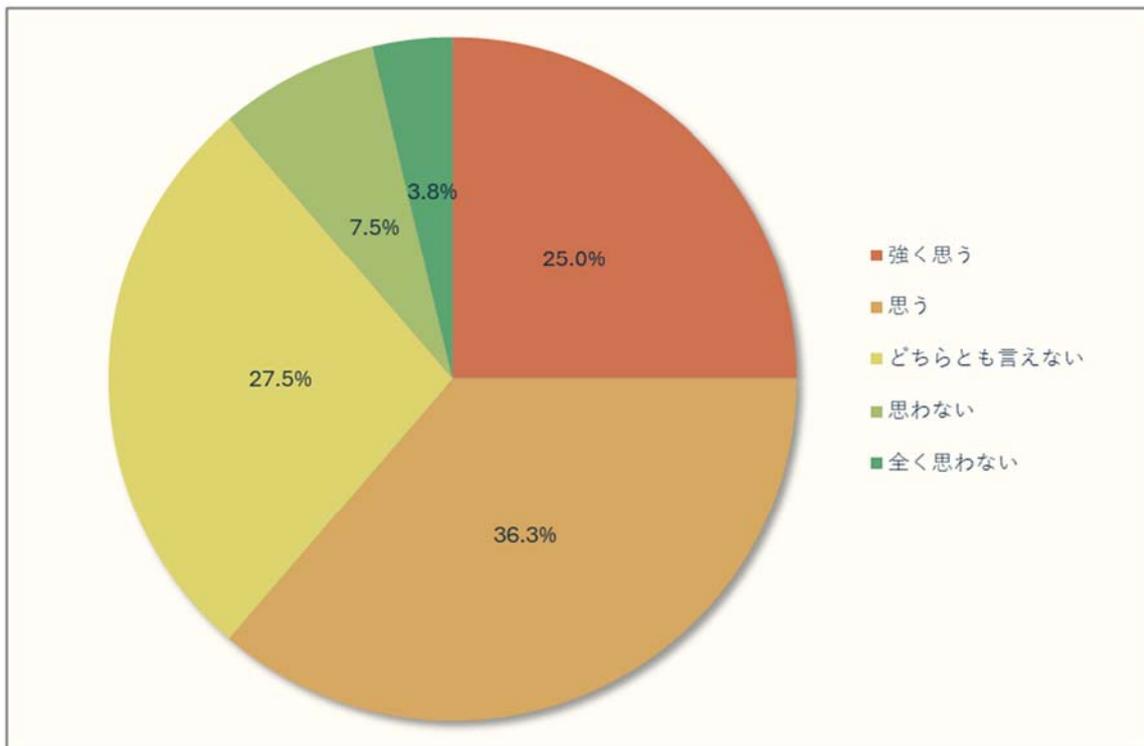


本学卒業にあたっての満足度について伺います。

12. 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



13. 学生生活に関する大学の支援体制（修学支援・キャリア支援・生活支援（心身の健康相談等）・課外活動支援など）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



14. あなたが入学した試験形態を教えてください。

